

平成29年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
52502	保育実習指導 I Childcare Internship: Guidance I	岡田 真智子 神谷 典子	専門	1	選択	1年 後期
<b>科目の概要</b>						
この科目は保育実習に当たって、その心構えや具体的な知識を含めたオリエンテーション、保育現場で求められる実技指導、実習園へ行く前の事前指導と、実習中の巡回教員からの指導、実習後の個別指導などから構成されている。						
<b>学修内容</b>			<b>到達目標</b>			
① 実習の意義と目的を理解できるようにする。 ② 実習の内容を理解し、自らの課題を考える。 ③ 実習施設における子どもの人権と最善の利益の考慮、プライバシーの保護と守秘義務等について学ぶ ④ 実習の計画、実践、観察、記録、評価の方法や内容について具体的に学ぶ。 ⑤ 実習の事後指導を通して、実習の総括と自己評価を行う。			① 実習の意義と目的を理解する。 ② 実習の内容を理解し、自らの課題を明確にもつ。 ③ 実習施設における子どもの人権と最善の利益の考慮、プライバシーの保護と守秘義務等についての重要性を理解する。 ④ 実習の計画、実践、観察、記録、評価の方法や内容について具体的に理解し教材を作成する。 ⑤ 実習の事後指導を通して、実習の総括と自己評価を行い、新たな課題を明確にする。			
<b>学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素</b>		<b>学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例</b>				
前に踏み出す力	主体性	保育実習に向けて、保育実習を理解し実習に対する心構えを理解し、保育教材作成に取り組む。				
	働きかけ力					
	実行力	保育実習に向け自分で目標を決める。				
考え抜く力	課題発見力	目標を達成するにあたり取り組むための課題を見出す。				
	計画力					
	創造力	保育実習に向かい積極的に知識・技術を身に着けるよう行動する。				
チームで働く力	発信力	実習先において常に伝える内容について要点を絞り整理しておく。				
	傾聴力	相手が話しやすい雰囲気を作るよう努力する。				
	柔軟性					
	状況把握力					
	規律性	保育実習や保育士としての仕事を意識し規律ある生活態度を日頃より意識行動する。				
	ストレスコントロール力					
<b>テキスト及び参考文献</b>						
テキスト:「学外実習の手引き」「教育・保育実習安心ガイド」「教育・保育実習実技ガイド」 参考文献:「保育所保育指針解説書」厚生労働省、「幼保連携型認定子ども園教育・保育要領解説」内閣府、文部科学省、厚生労働省						
<b>他科目との関連、資格との関連</b>						
他科目との関連:教育実習 I、教育実習指導 I、保育実習施設実習、各種実習事前事後指導 資格との関連:保育士資格						
<b>学修上の助言</b>			<b>受講生とのルール</b>			
・講義や演習などで学んだ内容を確認しておく。 ・日頃より保育士としてふさわしい態度を心がける。 ・手遊びや折り紙、絵本等保育技術に関心を持ち実践できるようにする。			遅刻、提出物などの期限を守ることは当然として行動する。 学外実習に向けての内容であるため、積極的に参加する 実習前の指導で欠席することなく意欲的参加する。			

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
筆記試験			
小テスト			
レポート	15	① ✓ ② ✓ ③ ④ ✓ ⑤ ✓	・保育内容を考え指導計画(部分案)を作成する。 (評価基準:計画に整合性がありよくできている 15 点・まあまあできている 15 点・課題は残る 10 点) 未提出 0 点
成果発表 (口頭・実技)	30	① ✓ ② ✓ ③ ④ ⑤	3 つの課題(①パネルシアター②ペープサート③手遊び・歌遊び)それぞれ保育実践を想定し人前で発表する。10 点×3
作品	30	① ② ✓ ③ ④ ✓ ⑤	3 つの課題(①パネルシアター②ペープサート③手遊び・歌遊び)の完成度を評価する。10 点×3 (評価基準:特に完成度が高い 10 点・創意工夫がみられる 8 点・完成しているが工夫と努力が必要である 5 点)
社会人基礎力 (学修態度)	10	① ✓ ② ✓ ③ ✓ ④ ✓ ⑤ ✓	(主体性)保育実習に向けて、保育実習を理解し実習に対する心構えを理解し、保育教材作成する。 (実行力)保育実習に向け自分で目標を決める。 (課題発見力)目標を達成するにあたり取り組むための課題を見出せる。 (傾聴力)保育実習に向かい積極的に知識・技術を身に着けるよう行動できる。 (発信力)実習先において常に伝える内容について要点を絞り整理する。 (傾聴力)相手が話しやすい雰囲気を作るよう努力する。 (規律性)保育実習や保育士としての仕事を意識し規律ある生活態度を日頃より意識した行動をとる。 受講態度(遅刻、欠席、学習意欲欠如、課題などの未提出)がみられる場合は減点する。
その他	15	① ② ③ ④ ✓ ⑤ ✓	受講態度が悪い場合は保育者としての資質に欠けると判断し保育実習を受けることができない場合があるので注意すること。 4回以上の欠席は保育所実習を受けることができない。 3 つの課題(①パネルシアター②ペープサート③手遊び・歌遊び)に対して提出期限を厳守する。5 点×3
総合評価 割合	100		

【到達目標の基準】

到達レベル A(優)の基準	到達レベル B(良)の基準
<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育実習の意義と目的を理解し、積極的に受講する。</li> <li>・保育教材の課題に対し実習を見据え実践を意識し計画性を持って保育教材作成し指導計画へ展開ができる。</li> <li>・作品の完成度が高い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習の意義と目的を理解している。</li> <li>・保育実践を見据えて保育教材を丁寧に仕上げている。</li> </ul>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	オリエンテーション 保育所保育指針を読む。	講義 (岡田・神谷)	保育実習 I の概要について理解する。 保育所保育指針から保育所の役割や保育所の社会的役割等について学ぶ。	(予習)保育所保育指針の総則を読んでおく	45	傾聴力
2週 /	次年度実習園の相談・希望調査用紙に記入をする。	演習 (岡田・神谷)	保育実習 II の実習園希望先等の個別相談や希望調査用紙の記入、提出など次の実習に向けての準備を行う。	(予習)保育実習 II の実習先を調べておく 実習先の概要を把握する	45	主体性
3週 /	保育実践力としてパネルシアター・パネルボードを制作する。	演習 G1・G2授業 (岡田・神谷)	実習で使用する教材の準備をする。指導実習の内容を具体的にイメージしながら、必要な教材を調達し制作する。	(予習)必要な教材を準備する ガイドテキストを参考に課題を探しておく	45	主体性
4週 /	保育実践力としてパネルシアター・パネルボードを制作する。	演習 G1・G2授業 (岡田・神谷)	実習で使用する教材の準備をする。指導実習の内容を具体的にイメージしながら、必要な教材の調達し制作する。	(予習)必要な教材を準備する ガイドテキストを参考に課題を探しておく	45	主体性
5週 /	保育実践力をつける。 (パネルシアターを演じる)	演習 G1・G2授業 (岡田・神谷)	完成した教材を使用し、保育実習を具体的にイメージしながら、使い方を事前に検討し実演する。	(予習)作品を完成しておく 完成した作品を使い練習する	45	主体性
6週 /	実習に必要な書類に記入をする。	演習 (岡田・神谷)	実習に向けて必要な書類の作成と提出をする。 連絡票・出席票・評価票の作成等(連絡先・写真)を指導する。	(予習)写真を用意し 連絡先を確認しておく 学外実習の手引きを読む	45	主体性
7週 /	保育実習の目的・内容を考える。	講義 (岡田・神谷)	保育所全般について内容を深める。	(予習)保育所の機能についてまとめる 学外実習の手引き(保育実習)を読んでおく	45	傾聴力
8週 /	保育所の現状を知る。	講義 (岡田・神谷)	保育現場での状況を聴き、現状と課題などを理解する。	(予習)保育所について知っていることをまとめる	45	傾聴力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性  
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	事前訪問指導の受け方・電話のかけ方・報告書提出指導・細菌検査の方法を学び実践する。	演習 (岡田・神谷)	事前訪問の受け方・報告書の記入方法の確認をする。 依頼の電話かけをする。	(予習)学外実習の手引き(保育実習)を読んでおく	45	主体性 規律性
10週 /	実習園を訪問し事前指導を受け実習園の概要、実習内容を把握する	演習 (岡田・神谷)	実習先を訪問し、事前指導を受ける。 訪問後は、速やかに巡回指導者に、報告書を提出する。	(予習)事前訪問に際し質問項目を準備しておく 事前指導報告書を作成する	45	主体性 規律性
11週 /	乳幼児保育についての学びをもとに指導計画作成をする。(幼児)	講義 (岡田・神谷)	乳幼児の保育及び保育指導案について学ぶ。 幼児保育の指導計画(日案・部分案)を立案する。	(予習)事前に廃された指導計画を読んでおく 指導案を作成する	45	傾聴力 主体性
12週 /	乳幼児保育についての学びをもとに指導計画作成をする。(乳児)	演習 (岡田・神谷)	低年齢児(0歳児・1歳児・2歳児)保育の指導計画(日案・部分案)を立案する。	(予習)ガイドテキストを参考に乳幼児の発達を把握しておく 未満児の発達の特徴を書き出してみる	45	傾聴力 主体性
13週 /	保育実践(手遊び・歌遊び)をする。	演習 G1・G2 授業 (岡田・神谷)	グループで協力し、「手遊び・歌遊び」の実践を行う	(予習)手遊び、歌遊びを練習しておく 他者の手遊びを練習して自分のものにする	45	主体性 傾聴力
14週 /	保育所実習 I の諸注意を学ぶ。	講義 (岡田・神谷)	実習の心得、態度、服装、勤務、子どもに接する態度等について諸注意を行う。	(予習)学外実習の手引きを読んでおく 手引きに添って実習に向かい目標を整理する。	45	傾聴力 規律性
15週 /	保育実習 I の反省会に参加し振り返りを行う。	講義・演習 (全教員)	巡回担当者別に反省会及び事後指導を行う。	(予習)実習の振り返りを完成し参加する。	45	主体性 傾聴力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性  
ストレスコントロール力

平成29年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
52503	保育実習指導Ⅱ Childcare Internship: Guidance Ⅱ	神谷 典子 岡田真知子	専門	1	選択	2年 前期
<b>科目の概要</b>						
保育実習Ⅰでの学びを深め、実習に当たっての心構えや具体的な知識を含めたオリエンテーション、現場で求められる実技指導、実習園に行く前の事前指導などを理解する。 また、実習中の巡回教員からの指導、実習後の個別指導などを理解する。						
<b>学修内容</b>			<b>到達目標</b>			
① 実習の意義と目的を理解する。 ② 実習や既習の教科の内容やその関連性を理解する。 ③ 保育の観察、記録及び自己評価等を踏まえた保育の改善について知る。 ④ 保育士の専門性と職業倫理の再確認をする。 ⑤ 実習の事後指導を通して、実習の総括と自己評価を行う。			① 保育について総合的に理解できる。 ② 保育実践力を身につける。 ③ 指導計画を立案することができる。 ④ 保育士の専門性と職業倫理を具体的に述べるができる。 ⑤ 保育に対する評価反省を行い、課題を明確にすることができる。			
<b>学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素</b>		<b>学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例</b>				
前に踏み出す力	主体性	実習に必要な知識について、教科書・文献を使って自己学修することができる。 技術の習得のために自ら制作したり練習したりすることができる。				
	働きかけ力					
	実行力	期限までに作品を仕上げることができる。				
考え抜く力	課題発見力	実習には何が必要か考えることができる。				
	計画力	計画表を作成し、計画表に基づいてプラブラ人形をグループ発表日までに完成することができる。				
	創造力	固定概念に捉われないことなどいろいろな方向から考え、プラブラ人形を制作することができる。				
チームで働く力	発信力	話そうとすることを自分なりにまとめて簡潔に伝えることができる。 発表の仕方を工夫して発表することができる。				
	傾聴力	人の話に耳を傾けて聴いたり自分の思いや考えたことを言葉にして伝えたりすることができる。				
	柔軟性					
	状況把握力					
	規律性	学修意欲欠如、遅刻、無断欠席、提出物の未提出など、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。				
	ストレスコントロール力					
<b>テキスト及び参考文献</b>						
テキスト：「学外実習の手引き」 愛知学泉短期大学幼児教育学科 編集発行 「保育所保育指針解説書」 厚生労働省編 株式会社フレーベル館 「幼稚園教育要領解説」 文部科学省 株式会社フレーベル館 「教育・保育実習安心ガイド」 阿部 恵・鈴木みゆき編著 ひかりのくに株式会社 「教育・保育実習実技ガイド」 東山 明・名賀三希子著者 ひかりのくに株式会社 参考文献：なし						
<b>他科目との関連、資格との関連</b>						
他科目との関連：保育実習Ⅰ、保育実習Ⅱ、教育実習Ⅰ、教育実習Ⅱ、施設実習Ⅰ、施設実習Ⅱ、各種実習指導 資格との関連：保育士						
<b>学修上の助言</b>			<b>受講生とのルール</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>配布プリントや資料は「学外実習の手引き」に合わせてまとめておくこと。</li> <li>作成した教材の使い方を考えておくこと。</li> <li>日頃より年齢に合わせた絵本、季節の歌、手遊び、年齢に合ったゲーム遊び等、分類しておく。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>授業中の私語は慎み、積極的に受講すること。</li> <li>テキストを忘れずに持ってくること。</li> <li>欠席や遅刻回数が多い、授業態度が悪い、提出物の期限を守らない等、積極的に受講する姿勢を示さない学生は実習を受けることができないので注意すること。</li> </ul>			

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標		各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
筆記試験				
小テスト		①		
		②		
		③		
		④		
		⑤		
レポート	20	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育実習の内容を具体的にイメージし、今までの学びを基に展開方法について具体的な計画書(年齢の特徴・遊び・活動名ほか)を作成することができる。10点</li> <li>・実習に備えて、保育の指導計画(日案・部分案)を立案することができる。10点</li> </ul>
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
		⑤		
成果発表 (口頭・実技)	40	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループで恥ずかしがらずに成果発表(手作りおもちゃ、手遊び・歌遊びノート)ができる。また、グループ毎に役割分担をして、責任を持って発表ができる。40点(手作りおもちゃ、手遊び・歌遊びノート各20点)</li> </ul>
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
		⑤		
作品	30	①		<ul style="list-style-type: none"> <li>・手作りおもちゃの完成度で評価を行う。30点</li> <li>作品の完成度が特に高い:30点、</li> <li>完成度は高く表現にも工夫がみられる。20点</li> <li>完成はしているが、表現方法に工夫と努力が必要である:10点</li> </ul>
		②	✓	
		③		
		④		
		⑤		
社会人基礎力 (学修態度)	10	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> <li>(主体性)</li> <li>・実習に必要な知識について、教科書・文献を使って自己学修することができる。</li> <li>(実行力)</li> <li>・技術習得のため指示がなくても自ら練習することができる。</li> <li>(課題発見力)</li> <li>・実習には何が必要か考えることができる。</li> <li>(計画力)</li> <li>・計画表を作成し、計画表に基づいてプラブラ人形をグループ発表日までに完成することができる。</li> <li>(創造力)</li> <li>・固定概念に捉われないことと色々な方向から考え、プラブラ人形を制作することができる。</li> <li>(発信力)</li> <li>・話そうとすることを自分なりにまとめて簡潔に伝えることができる。</li> <li>・発表の仕方を工夫して発表することができる。</li> <li>(傾聴力)</li> <li>・人の話に耳を傾けて聴いたり自分の思いや考えたことを言葉にして伝えたりすることができる。</li> <li>(規律性)</li> <li>・学修意欲欠如、遅刻、無断欠席、提出物の未提出など、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。</li> </ul>
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
		⑤	✓	
その他		①		
		②		
		③		
		④		
		⑤		
総合評価割合	100			

**【到達目標の基準】**

到達レベル A(優)の基準	到達レベル B(良)の基準
<ul style="list-style-type: none"><li>・実習の意義と目的を理解し積極的に説明することができる。</li><li>・工夫して保育教材の制作を意欲的にすることができる。</li><li>・「保育実習 I」での課題を踏まえた年齢に適した指導計画の作成をすることができる。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・実習の意義と目的を理解することができる。</li><li>・手を抜かず保育教材を仕上げるることができる。</li><li>・年齢に適した指導計画の作成をすることができる。</li></ul>





週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	・オリエンテーションを行う。 ・保育所保育指針を読む。	講義 (神谷・岡田)	保育実習Ⅱの概要について理解することができる。 保育所保育指針を見て、子どもの発達・保育内容等を確認することができる。	(復習) 保育指針について復習しておくこと。	45	主体性 傾聴力
2週 /	・保育実習Ⅱの目的・内容を学ぶ	講義 (神谷・岡田)	保育実習Ⅱの目的と内容について、理解することができる。	(復習) 保育実習Ⅱの目的と内容について復習しておくこと。	45	主体性 傾聴力
3週 /	・教材「ブラブラ人形」を制作する。	演習 (神谷・岡田)	指導実習の内容を具体的にイメージしながら、必要な教材の調達や使い方を事前に検討することができる。	(復習) 必要な教材の調達をしておくこと。 使い方の考案をしておくこと。	45	主体性 創造性
4週 /	・教材・脚本作りをする。 「ブラブラ人形」	演習 (神谷・岡田)	実習で使用する教材を制作することができる。 グループ毎に制作した教材を使った人形劇の脚本を考えることができる。	(復習) ブラブラ人形を完成させること。 劇の練習をしておくこと。 役割分担の把握をしておくこと。	45	実行力 創造性 計画性
5週 /	・教材「ブラブラ人形」のグループ発表を行う。	演習 (神谷・岡田)	メンバーで役割分担・発表の仕方を工夫等して発表することができる。	(復習) 発表の反省をし、次への活かし方を考える。	45	実行力 傾聴力 発信力
6週 /	・保育実習に必要な書類の記入を学び作成する。 (連絡票・出席票・評価票の作成など)	演習 (神谷・岡田)	実習に向けての必要な書類の作成と提出することができる。	(復習) 実習に向けての準備をしておくこと。	45	主体性 傾聴力
7週 /	・保育実習についての諸注意を学ぶ。 ・事前訪問指導の仕方を学ぶ。	講義 (神谷・岡田)	事前訪問の受け方・報告書の記入方法の確認をすることができる。 実習依頼の電話をかけることができる。	(復習) 事前訪問の受け方・報告書の記入方法の確認をしておくこと。 実習依頼の電話のかけ方を確認しておくこと。	45	主体性 傾聴力
8週 /	・「保育実習Ⅰ」の振り返りと指導実習を学ぶ。	講義 (神谷・岡田)	「保育実習Ⅰ」の実習記録(学外実習用)を参考に、実習を振り返り、主活動の指導案を作成することができる。	(復習) 「保育実習Ⅰ」の実習記録(学外実習用)を参考に、実習を振り返り、主活動の指導案を作成してみる。	45	実行力 計画力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性  
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	・実習記録と指導計画について学ぶ。	演習 (神谷・岡田)	指導実習に備えて、保育の指導計画(日案・部分案)を立案することができる。	(復習) 主活動に適した保育内容を考案しておくこと。	45	実行力 計画力
10週 /	・保育実習の事前指導訪問に行き、実習園の概要・実習内容などを把握する。	演習 (神谷・岡田)	実習先を訪問し、事前指導を受けることができる。訪問後は、速やかに巡回指導者に報告書を提出することができる。	(予習) 事前訪問の受け方の確認をしておくこと。 (復習) 訪問後は巡回教員「事前指導報告書」を提出すること。	45	実行力 発信力 規律性
11週 /	・「遊び」について考える。	講義 (神谷・岡田)	「子どもの生活は遊びである」と言われるように、遊びは子どもにとって重要な位置を占めるものであることを理解することができる。	(復習) 「遊び」について復習しておくこと。	45	主体性 傾聴力
12週 /	・「手遊び・歌遊びノート」作りを学ぶ。	演習 (神谷・岡田)	「乳幼児の遊び」を、より深く読み取れるように「手遊び・歌遊びノート」作りをすることができる。	(復習) 遊びノートの完成をすること。 役割分担の確認をし、練習すること。	45	実行力 創造力 計画性
13週 /	・「手遊び・歌遊びノート」の発表をする。	演習 (神谷・岡田)	メンバーで役割分担・発表の仕方を工夫して発表することができる。	(復習) 発表の評価反省から課題を発見し、実習での遊びノートの活かし方を考えること。	45	実行力 傾聴力 発信力
14週 /	・保育実習Ⅱについての再確認をする。	講義 (神谷・岡田)	実習の心得・態度・服装・勤務・子どもに接する態度等を確認をすることができる。	(復習) 保育実習Ⅱについて再確認すること。	45	主体性 規律性
15週 /	・保育実習Ⅱの反省、指導された点、今後の課題などを振り返り共有する。	講義・演習 (全教員)	保育実習Ⅱの反省会に参加し、振り返り・反省をし、課題を明確にすることができる。	(復習) 実習の振り返りをしておくこと。 体温チェック表・事後報告書の記入をしておくこと。	45	傾聴力 発信力 課題発見力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性  
ストレスコントロール力



